

# 「山口県医師確保計画」の策定について

## 1 概要

「医師偏在指標」に基づく、本県における医師の確保に係る医療提供体制の確保に関する基本の方針を定めるもの。

第8次山口県保健医療計画の策定（第7次山口県保健医療計画の改定）にあたり、これまで別冊としていた医師確保計画を保健医療計画本体へと統合する。

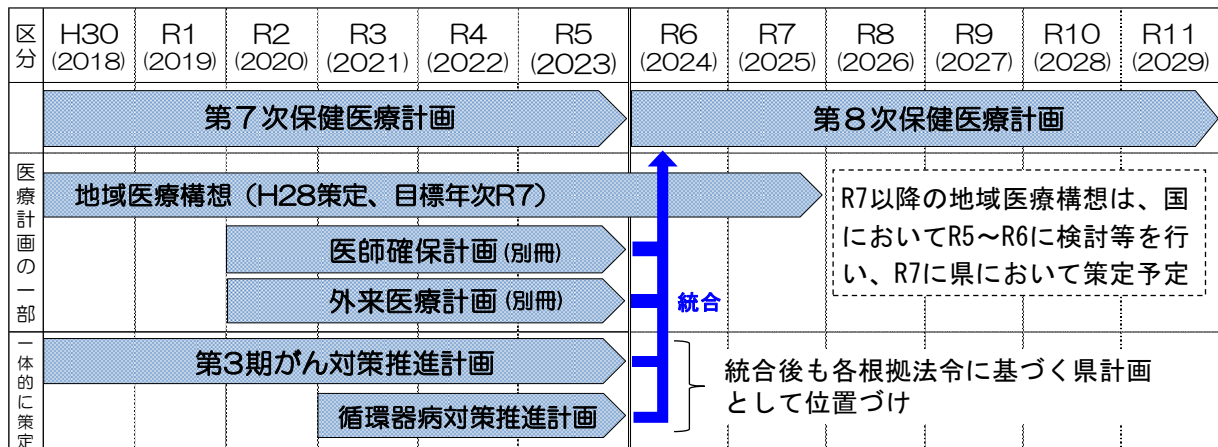
## 2 計画の位置づけ

- 医療法第30条の4第1項に規定する県保健医療計画の一部
- 医療法第30条の4第2項第11号に規定する事項

## 3 計画期間

令和6年度(2024年度)から令和11年度(2029年度)（6年間）

\* 令和8年度(2026年度)までの前期と、令和9年度(2027年度)以降の後期の2段階。



## 4 山口県医師確保計画の概要

### (1) 医師偏在指標に基づく医師少数区域・医師多数区域等

保健医療圏	医師偏在指標	全国順位	少数・多数の別	医師少数スポット
山口県	228.0	32位	少数	
岩国	223.9	99位	多数	旧錦町地域 旧美和町地域
柳井	143.5	308位	少数	
周南	192.1	186位		
山口・防府	223.4	100位	多数	
宇部・小野田	324.2	29位	多数	美祢市
下関	224.3	98位	多数	旧豊田町地域 旧豊浦町地域
長門	139.5	314位	少数	
萩	183.5	229位	—	萩市
全国平均	255.6			

注) 全国順位は、47都道府県ごと、2次医療圏は335医療圏で算出

## (2) 医師確保の方針

### ①県

- 医師の時間外・休日労働時間の上限規制適用や、年々増加する女性医師の割合などを背景に、若手医師の確保を中心に取り組んできたところ。
- これまでの取組を踏まえ、引き続き県全体としての医師総数を確保する。

### ②二次保健医療圏

多数・少数等	医師確保の方針
医師少数区域	将来にわたる持続的な地域医療提供体制の確保に向け、保健医療圏内の医師数を増やしていく
医師多数区域	将来にわたる持続的な地域医療提供体制の確保に向け、保健医療圏内の医師数を維持する
多数・少数のいずれにも該当しない区域	将来にわたる持続的な地域医療提供体制の確保に向け、保健医療圏内の医師数を維持する
医師少数スポット	将来にわたる持続的な地域医療提供体制の確保に向け、当該地域内の医師数を増やしていく

## (3) 目標医師数

### ①県全体の目標医師数

2020年実医師数	2026年目標医師数	2036年目標医師数
3,491人	3,519人	3,650人

### ②各区域の目標医師数

二次保健医療圏	少数・多数の別	2020年実医師数	2026年目標医師数
岩国	多数	298人	298人
柳井	少数	152人	170人
周南		510人	510人
山口・防府	多数	715人	715人
宇部・小野田	多数	989人	989人
下関	多数	678人	678人
長門	少数	56人	66人
萩		93人	93人

## (4) 目標達成に向けた施策等

### ①医師少数区域等への医師の効果的な配置

### ②本県医療を担う医師・医学生の確保

- 医師修学資金の貸付
- 山口大学医学部における地域枠の設置
- 地域医療を支える医師確保の促進
- 高齢医師の活用の促進

### ③臨床研修医の確保

### ④専門医の養成

### ⑤医業承継の推進

### ⑥勤務環境の整備

### ⑦情報発信等

## (5) 産科医・小児科医に係る医師確保計画

### ①産科における医師偏在指標に基づく相対的産科医師少数区域等

周産期医療圏	医師偏在指標	全国順位	区域設定
山口県	9.5	31位	少数県に準じる県
岩国、柳井	6.1	244位	少数区域
周南	7.8	180位	少数区域に準じる区域
山口・防府、萩	9.9	112位	少数区域に準じる区域
宇部・小野田	15.5	34位	
下関、長門	8.3	162位	少数区域に準じる区域
全国平均	10.6		

注) 産科における医師偏在指標の全国順位は、47都道府県ごと、周産期医療圏は、分娩実績のある278周産期医療圏で算出

### ②産科医確保に向けた基本方針

#### ○県

■将来にわたる持続的な地域医療提供体制の確保に向け、県全体として産科の医師（分娩取扱医師）の総数を増やしていく。

#### ○各周産期医療圏

(相対的産科医師少数区域、相対的産科医師少数区域に準じる区域)

■産科の医師（分娩取扱医師）の総数を増やしていく。

(相対的産科医師少数区域等に該当しない区域)

■必要な産科の医師（分娩取扱医師）の確保に取り組む。

### ③小児科における医師偏在指標に基づく相対的小児科医師少数区域等

小児医療圏	医師偏在指標	全国順位	区域設定
山口県	115.0	25位	少数県に準じる県
岩国	115.8	116位	
柳井、周南	90.3	217位	少数区域
山口・防府、萩	112.4	124位	少数区域に準じる区域
宇部・小野田	160.7	19位	
下関、長門	101.5	170位	少数区域に準じる区域
全国平均	115.1		

注) 小児科における医師偏在指標の全国順位は、47都道府県ごと、小児医療圏は311小児医療圏で算出

### ④小児科医確保に向けた基本方針

#### ○県

■将来にわたる持続的な地域医療提供体制の確保に向け、県全体として小児科の医師の総数を増やしていく。

#### ○各小児医療圏

(相対的小児科医師少数区域、相対的小児科医師少数区域に準じる区域)

■小児科の医師の総数を増やしていく。

(相対的小児科医師少数区域等に該当しない区域)

■必要な小児科の医師の確保に取り組む。

### ⑤産科・小児科の医師確保に向けた施策等

- 医師修学資金の特定診療科枠に産婦人科・小児科を指定し、修学資金の貸与や県地域医療支援センターにおけるキャリア形成支援等の取組等を通じ、周産期医療・小児医療を担う医師の養成・確保に努める。
- 産科医の処遇を改善するため、分娩手当や産科専攻医への手当を支給する医療機関への補助の実施。
- 子育て世代医師にも対応した勤務環境改善の支援。

### 6 策定スケジュール

- |      |     |                                      |
|------|-----|--------------------------------------|
| 令和5年 | 10月 | 山口県医療対策協議会（素案協議）                     |
|      | 11月 | 山口県医療審議会（素案審議）                       |
|      | 12月 | 県議会環境福祉委員会（素案報告）<br>パブリック・コメント実施     |
| 令和6年 | 2月  | 山口県医療対策協議会（最終案協議）<br>山口県医療審議会（最終案審議） |
|      | 3月  | 県議会環境福祉委員会（最終案報告）<br>計画策定・公示         |